

2023年4月20日

お客様各位

セイコーソリューションズ株式会社
ネットワークソリューション本部

**固定電話網（加入電話・INS ネットデジタル通信モード）の
IP 網移行に関する UST シリーズへの影響**

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、固定電話網の IP 網移行が 2024 年 1 月に 3 段階で実施が予定されています。

EDI 通信において固定電話網が広く利用されていますが、IP 網移行後の代替通信手段として提供される、加入電話（メタル IP 電話）、補完策を利用した場合の弊社 UST シリーズへの影響を、NTT 東日本の補完策新検証環境（商用相当）で確認しました。

IP 網移行後、現状と同品質での通信はできませんが、運用でのリカバリーにより引き続き利用可能と判断しております。

固定電話網の IP 網移行、補完策新検証環境（商用相当）テスト結果については、インターネット EDI 普及推進協議会（JiEDIA）の Web サイトに資料が公開されていますので、ご参照ください。

<https://www.jisa.or.jp/jiedia/tabid/2822/Default.aspx>

【IP 網移行後の注意事項】

- 1. 加入電話（メタル IP 電話）、補完策を使用した場合、現状と同品質での通信はできません。
IP 網移行によるもので UST シリーズの設定をチューニングしても現状の品質に戻すことはできません。
- 2. 伝送時間が現状の 1.2～2 倍程度（通信設定や環境により変化）長くなります。
伝送失敗が発生することがあります。その場合はソフトウェアで再送処理を実施してください。

●まとめ

加入電話（メタル IP 電話）、補完策を使用する場合、以下 2 点を考慮することでご利用可能です。

★EDI ソフトウェアでの伝送再送回数を有限回に設定し再送を実施すること

★伝送時間が長くなることを考慮した伝送スケジュールを組むこと

IP 網移行に伴う伝送の不具合に関するお問い合わせ、障害解析のご依頼等をいただいた場合、有償作業となることがあります。

あらかじめご了承ください。

引き続き弊社 UST シリーズを末永くご利用くださいますよう、よろしく願いいたします。